



横尾小学校便り

みがけ心、きたえ体

横尾っ子だより



令和5年度 第10号 R05.12.15 (金)

～かしこく やさしく たくましく～

【・のびる横尾っ子 ・できる横尾っ子】

文責 校長 河野 正勝

## 横尾だんじり保存会の皆様、

### ご指導ありがとうございました

#### 【子ども横尾だんじり】

今年度も9月、10月と毎週木曜日に、横尾だんじり保存会の方々から4年生が、横尾だんじりの指導をしていただきました。目標は、もちろん「横尾まつり」での発表です。パート練習から全体練習まで計7回の練習を経て、本番を迎えました。今年の4年生は、これまでで一番人数が少なかったので、「最小で最高の演技をする」という目標をもって取り組みました。本番では、4年生と保存会の方しか分からない大きなハプニングがありましたが、それも子どもたちが自分たちの力で乗り越え、目標を達成することができました。

「横尾まつり」から3日後の「横尾っ子なかよし集会」では、保存会の方を招待し、これまでの感謝の気持ちを込めて、横尾だんじりを披露しました。



#### 【10/3 稲刈り】

6/15に4年生が昔の道具「田植え竿(田植え定規)」を使っての田植えを行ってから3か月半ほどたった10月、稲の穂先にはたわわにもち米が実りました。田んぼをお借りしている高尾様を中心に横尾だんじり保存会の方が、水の管理などを行ってくださったおかげです。本当にありがとうございました。横尾だんじり保存会の方のご指導の下、保護者の方や地域の方にも見守られながら、どんどん稲が刈られていきました。すべて刈った後は、一束ずつ結んで、干しました。最後までスムーズに活動することができた子どもたちでした。稲刈りの気付きや感想を保存会の方に伝えるとともに、お礼の言葉もしっかり述べて、稲刈りを終了しました。



#### 【10/13 脱穀】

稲刈りから10日後、昔の道具「足踏み脱穀機」と「唐箕」を使って、脱穀を行いました。「足踏み脱穀機」と「唐箕」は、普段は本校の社会科資料室に展示してあります。昔の道具を使っての脱穀は、なかなか体験できるものではありません。この日も横尾だんじり保存会の方が8名来校してくださり、脱穀の準備、昔の道具の使い方や後片付けに関する指導や補助をしてくださいました。終わりの会では、地域の方々への感謝の気持ちや田植えから稲刈り、脱穀までの長い期間費やしたもち米を大切に思う気持ちなど、多くの気付きや感想が出されました。

#### 【11/20 もちつき】

今年も平山さんのお宅を提供していただきました。庭に設置したかまどで蒸かしていただいたもち米をついていきます。つき方もしっかり指導していただき、回数を重ねるたびに上手になっていった子どもたちでした。ついたもちは、平山さん宅の広間で丸めていきます。白もち8臼、食紅で浅く染めた紅もち3臼、かんころ餅2臼できました。子どもたちも大喜びで、活動を満喫しました。天気もよく、横尾だんじり保存会の方と一緒に活動できる本当に幸福(しあわせ)な時間だと思いました。持ち帰って食べることができるように、子どもたち一人ひとりに全種類のもちも持たせていただきました。本日のもちつき体験はもちろん、これまでの感謝の気持ちをしっかり伝えて帰校しました。



今回の記事も横尾小ホームページでより詳しく閲覧できます。(画像もたくさんアップしています)「学校生活」の「校長室より」を開いてください。

横尾小ホームページQRコード

